

# 歌を通して人と人を繋ぐ『たぶせ少年少女合唱団』

問社会教育課 ☎ 52-5813

8月18日(日)に盛況のうちに幕を閉じた『第4回サマーコンサート』のステージに立った『たぶせ少年少女合唱団』は、団員は30人(小学1年生～高校3年生)で、仲間同士で助け合いながら日々の練習に励んでいます。

今回は『たぶせ少年少女合唱団』の団員にインタビューしました。



▲第4回サマーコンサートの様子



◀インタビューに協力していただいた団員

左から順に形山 実穂さん・吉村 優衣さん・河本 日和さん

Q. 活動の中でやりがいを感じる場所は？

A. パートごとに練習を頑張っ、本番でピッチリ合ったときや、コンサート終了後に来場者の皆さんから直接『よかったよ!』『凄かった!』と言ってもらえたときに『頑張った成果が出てよかった』と思います。

Q. 今後、たぶせ少年少女合唱団でやりたいことは？

A. 合唱団の卒業生と一緒に歌ったりするコンサートができると嬉しいです。

**合唱団員を募集しています!!**



◀練習中の様子

◇練習日時

- ・毎週土曜日  
午前9時30分～正午
- ・毎週日曜日(6月～)  
午後6時～午後8時

田布施川で準備をしている時、地域の人が「子どものころ、ここで泳ぐのが夏休みの日課だったなあ。」と懐かしそうに言われました。以前とは子どもを取り巻く環境が大きく変わり、虫取り網を片手に山川を走り回る子どもの姿はいっしか見えなくなりました。

そんな中、城南こころ教室(城南小学校放課後子ども教室)は、田布施の自然を子どもたちに味わってほしいと、8月9日に夏休み特別企画『田布施川で遊ぼう!』を開催しました。真夏の空の下、城南地域の子ども・地域の方々35人が参加し、小学校の叶山校長先生も駆けつけました。

夢中で魚を追う子どもたち、初めて魚を釣ったと喜ぶ女の子、筏がひっくり返り、ずぶ濡れになっても大笑いの6年生、見守る大人にも白い歯がこぼれました。ちな



みにこの筏は、数十年前の体験を今の子どもたちにもさせてあげたいという思いから、地域の方々が手作りしたものでした。子どもたちにとってのふるさとでの夏の思い出になればと感じました。